

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	A-463	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
部分開口 構造用合板補強工法					〒				
真壁「押入」裏棧なし					電話	Fax			
概要	技術概要 真壁で押入の床及び天井の間で段板を除いた部分を構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴 ・ 天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく補強が可能。 ・ 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易。						コスト サンプル構面 30,282 円/kN 設計見積り例 —		
	公的機関による技術評価・性能証明 機関名 ・ 評価番号 ・ 評価取得日 ・				実験実施機関 名古屋工業大学 その他				
仕様	適用範囲				写真・図 				
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚 12mm 以上								
	釘 N50, CN50 @100 以下								
	間柱、上下受材なし、四方受材(縦のみ)あり								
耐震性能									
評価仕様: 真壁仕様									
壁基準耐力		壁基準剛性							
1.56kN/m		219kN/rad./m							
A-111 からの低減係数 $\alpha = 0.3$ 壁基準耐力 $5.2 \times 0.3 = 1.56$									
設計方法									
①柱接合部による低減 取付部分が健全であること									
②劣化による低減 取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他									